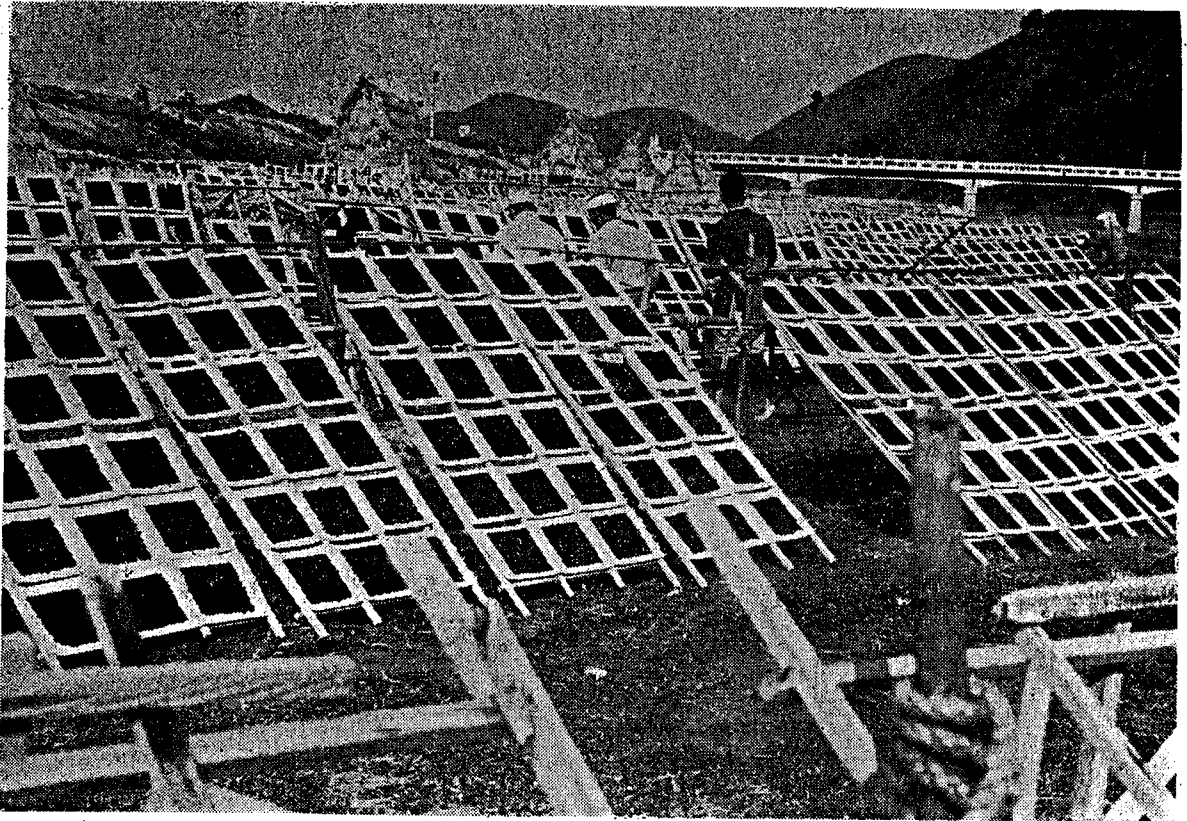


拓水

第六四号昭和卅六年十二月十五日発行
毎月十五日一回発行 一部 十円
昭和卅二年十月十八日 第三種郵便物認可

十二月



兵庫県漁業協同組合連合会
財団法人 兵庫県水産業改良普及協会

第十回兵庫県水産業改良普及

実績発表大会におも

管 原 英 一

昭和三十六年も余す所僅かになり恒例の県大会の期日も近づいて来ました。県大会も本年でちょうど十年目になりますが、この間回を重ねるごとにその発表内容、発表技術も洗練され、全国大会に出場しても農林大臣賞受賞も再三あり、漁民のクラブ活動及び水産業改良普及事業推進の先進県として全国の注目する所となり、他県の水産業改良普及事業の先鞭をつけ、大いに気をはいて来ました。これは漁民の熱意、自覚によることは勿論であるが、これに加えて前水産課長森沢基吉氏並びに水産試験場前普及調査課長川越敬一氏、更に各地に駐在している普及員、及び改良普及協会等の指導と熱意が実を結んだもので、その熱意と努力に対して敬意を払うと共にその実績を汚さないよう、今後も本事業を推進して行きたいと思っております。

そこでこれからも本事業を更に発展させるために、ちようど十年目とゆう所で、一応過去の発展経過を振り返りかえてみることも無駄ではないと思えます。昭和二十八年二月に第一回の大会が開催された時は出場者も発表技術も未熟であり、また聴衆者もその態度等も必ずしも良好とはいえなかった。所が回を重ねるごとに洗練され、前述のように農林大臣賞まで得るようになったが、その反面各研究クラブの競争意識が強まり、その発表内容等が多少本質からはずれて、賞をとるための発表とか、発表のための研究というような傾向があらわれて来た。そこでこのような弊害を除去するため、県大会の出場者に対する表彰もその研究についての努力を認める意味で平等にするよう改められ、一步前進して来ました。しかし一方ではグループの構成員の変動、研究事項のマンネリ化、その他漁業法規の制約等により、研究活動が表面にあらわれてこないクラブも出て来たが、水産試験

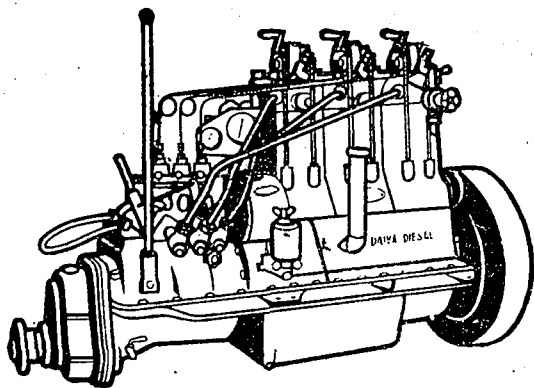
三菱ダイヤディーゼル

漁船用三菱ダイヤ

3～60馬力

調子は天下一品

力は横綱



特徴

- 1、信頼性 耐久性が大
- 2、取扱簡単で始動が容易
- 3、油が経済的

総代理店

(株) 山陽ダイヤ商会

神戸市兵庫区東柳原町70 電話5-1125

営業所 松江市・笠岡市・児島市

場、普及員の協力により依然として盛大に大会を続けられました。昨年は漁協婦人部が結成されて始めて生活改良普及員も配置され、また全国大会においても婦人の参加もあり、なお水産業改良普及と婦人部の活動とは表裏一体をなすもので、お互にやっていると知り提携していくために、婦人部もこの大会に参加して盛大に行われました。

さて本行第十回の大会になるのですが、発表内容等についても過去十年の体験等も今後の進み方について、貴重な参考となることもあると思われるので今までの内容の枠を大いに拡げてやってみる積りであります。そして今までの大会では発表し放し、或いは聴き放しになる傾向もあったので、この点を何とか改めていくような方法を考えると共にクラブ活動が始まって十年になり、一部では研究クラブの在り方等についても曲り角にきているといわれておるので、この際思い切って大会を二日間にし、第一日は発表、第二日にはクラブ員相互の討論会（クラブ活動の在り方等について）を行うのも今後の大会、ひいては水産業改良普及事業を推進する上には、非常に意義あることではないかと思っております。

漁業経済調査の拡充について

農林省兵庫統計調査事務所

ます。以上のような考え方で本年の県大会を進める予定でおりますので、協力方につき宜しくお願いいたします。（水試普及調査課長）

このたび当事務所では、昭和三十

七年一月より漁業経済調査の標本を現行十九戸から五十八戸に大巾に増加し、調査を拡充することにしました。

現在実施しています調査は、サンプル数が少ないため、漁業のようによい状態が複雑多岐にわかれ階層差の大きい状態では、経営の実態を正しく反映せず生産性を測る就業者一人当りの所得に関する基本的な数字さえ得られていない極めて不満足な状態でありました。

しかし一応国の段階として、諸産業に占める漁業の位置とか、漁家の生活水準、国民所得の算定等これらの総合による漁業政策の方向づけのための資料としては得られていて、県の段階として限定された地域における漁業補償、沿岸漁業振興対策等の諸問題については、具体的に利用することは全く事例調査の範囲にとどまっています不十分な実情であ

ります。

経済調査から概観しますと、漁家の所得は一般に農家や都市勤労世帯に比べて低くしかも所得増加の傾向はみることはできません。

県下の昭和三十五年度一戸当り平均についてみますと農家の所得は、約四十四万円であるのに対し、漁家所得は約三十万円（標本の関係により多少数字に不備があります）と推定されて極めて低く、農家や都市勤労世帯にあっては、年を追うごとに所得は順調に伸びていますから、その格差はますます大きくなっていく傾向があり、漁家は所得不安定のうち低い生活水準に停滞していることがうかがえます。

昨年漁業基本問題調査会の答申によって、結果利用の必要性が高まって参りこの路線に沿うとともに、水産庁ならびに関係機関等よりの調査拡充の要請に依って前述のとおり、標本数を増加し就業構造の近代化と

目次

第十回兵庫県水産業改良 普及実績発表大会におも う 管 原 英 一	1
漁業経済調査の拡充について 農林省兵庫統計調査事務所	2
第六回兵庫県漁業協同組合 婦人部大会開催さる	3
第六回漁協婦人部大会 (講演)より 漁村の暮しについて	6
漁協婦人部活動状況の概要	9
昭和三十六年九月の 海面漁業漁獲量の概要 農林省兵庫統計調査事務所	10

経営構造の改善によって漁家生産所得の増大を図る等の重要な基礎資料を全国的に整備することにしたわけでありませう。

わが国において、漁業経済が調査された沿革は非常に新らしく、本格的な全国的規模の調査としては農林省実施の昭和二十六年からでありまして、それ以前は局部的、断片的に地方庁あるいは会社等で漁村調査、金融調査等と名付けて実施されておりましたにすぎません。

農業の経済調査が全国的な規模で発足したのは大正二年であるのに対し、漁業の経済調査は非常におくれていると言えましよう。

このように漁業経済調査の歴史は新らしく、また標本数が少なくても利用面に種々制約が生じていた現行の調査を拡充するということは、誠に意義深いものと思われませう。

調査の方法としては、経営体の漁船階層別に平均的な代表性のあるものを有意に選定した漁家について、日記帳に日々の現金現物等の収支とか、労働時間、漁獲量等を記載していただき、この日記帳を基礎として当事務所職員が月別あるいは年間をとりまとめ、資産の変動状況、経営費、生産費、所得等経営の成果や、

労働状況等多項目にわたり集計するものであります。従来は会計年度で調査していたのを今回標本の増加にともない暦年にあらため、漁業生産統計に見合うようにするとともに、地域の生産漁業所得の推定資料にも利用することにしました。

記載された漁家側にとってみましても、再生産過程を通して経営の安定化と生活の設計にも役立つものと考えられます。現在実施中の調査は幸いして脱落の記載漁家は少なく、長期にわたって御協力を得ていることは全く感謝の外ありません。

この調査については、勿論秘扱いをいたしますので課税の対象とかその他で御迷惑をお掛けすることは絶対ありませんから御了承下さい。

以上申し述べました漁業経済調査の拡充強化につきましましては、関係機関ならびに漁業者の方の御協力なくしては完遂できませんので、どうかこの主旨をじゅうぶんに御理解賜り御支援いただきますようお願いする次第であります。



第六回兵庫県漁業協同組合

婦人部大会開催さる

去る十一月八日、水産会館において、兵庫県漁協婦人部連合会の主催によって、六回目の漁業協同組合婦人部大会が開催され、早朝より県下の漁協婦人部員並びに関係者約三百数十名が一堂に参集し、来賓多数臨席のうえ盛大に開催されました。

午前九時三十分、大会の開会にあたり県漁協連合会（代理）より挨拶があり、続いて来賓祝辞として兵庫県水産課長、県漁連会長、信漁連会長の祝辞があつて、本大会の議長選出ののち、去る九月に東京で行なわれた第五回全国漁協婦人部大会の参加報告があり、引続いて灘生活協同組合の永谷理事さんより「漁村の暮しについて」と題して講演があつた。午後からは例年により三分科に別れて分科会が開かれて熱心に討議されその結果、全体討議、決議、大会宣言を経て午後四時頃、第六回兵庫県漁業協同組合婦人部大会も盛会裡に閉会された。

なおここで本大会の中心であつた分科会についての概要、全国大会の報告、講演等についてお知らせします。（講演については紙面の関係上次号に分割して掲載します）

分科会

第一分科会

「将来の漁村問題について」

1 子供の職業として漁業をするために。

2 人手不足や市場の週休制などをのりこえて漁業収入を高めるために。

3 安定した収入を得るための副業導入について。

分科会報告

水産日本として見た場合には、漁業は絶対必要であり、これを継いで行く子弟にはこの仕事に対して誇りを持つてたずさわられるように、親や学校等で教育するべきである。しかし漁業は、他産業に比べて収入が少

いということ、日曜祭日などがな

く労働条件が悪いこと、老後の保証がないということ、また文化生活に恵まれないなどのために、他産業に転じて行く傾向が強いのでこれ等の点について、今後改善しなければならぬ。また親としてもかなり収入も多く労働条件のよい他産業に転換させてやりたいと思うけど、内海方面は漁業者が多いため、次男は他産業に転出するように指導してもよいが、日本海方面は根本的に人口が少ないため、漁業を続けられるような方法（漁業労働力の確保）を研究する必要があり、つまり労働条件、給与体制などをもっと改善する必要があるが、結局はそれぞれの地区に於いて事情も違うので、家庭でよく子供と話し合っ、地区に合ったように進む方向を決めるべきである。

なお老後保証の問題については、但馬における底曳は船員保険法によって年金（十一年）の制度があるけれども、全般的にみれば一部であり、将来において漁業補償（工場排水、埋立）等による補償金や、また手数料の一部を積立てるなどによって、年金制度的なものを考えてよいのではないか、また共済制度等を利用する方法等も考えるべきであ

る。

漁村の人手不足や市場の週休制、また安定した収入確保の問題については、市場の週休制などは中央市場と関係している地区では非常に困るとの意見が強くしかし神戸市内等では反ってよいという意見もあった。また収入確保の問題では、他県ではその土地で生産される雑魚を利用し、これを餌料として大きな業者とタイアップして、まとまった養鶏をしていてるところがある。しかしこれは或る程度大規模でなければ、そう簡単にはできないなどいろいろ論議された。

第二分科会

「漁協婦人部の運営について」

- 1 部員みんなが動く婦人部とするために。
- 2 部会（グループ）活動のすすめ方。
- 3 他婦人団体との関係調整の仕方。

分科会報告

部員みんなが動く婦人部とするためにという問題については、現在における漁家婦人は、一年中時間的余裕がないため、常に会合を持つこと

が非常に困難であるということ、

これがため各種の会合において時間をよく守ることを考えねばならない。特に閉会時間を厳守するようにしなければならない。この時間を厳守しないことが会合の集りを悪くする原因になることも考えられる。また集合した場合に時間的余裕があれば、楽しい時間を過ごす工夫するべきではないか、家庭でできないようなことをこの時間にできるように努める。

グループ活動のすすめ方については、各婦人部では一応グループ活動を行っているが、部員がついてこない感がある。そのためグループ活動をすすめる上においては、まづ身近かな問題を活動内容にとり入れることで、即ち必要性より生じた問題をとりに上げて、常にグループ的話し合いを行ない、部員相互が接するよう努力するべきである。

他の婦人団体との関係調整の点については、漁協婦人部は設立以来五、六年を経た現在では、他の団体との対立はほとんどない。ただ私達は漁協婦人部としての誇りをもって常に相手団体と尊重しあって、漁協婦人部活動をすすめるべきである。

第三分科会

「漁家の生活改善について」

- 1 予算生活はどうすればできるか。
- 2 どうすれば家計簿をつけられるようになる。

分科会報告

家計簿の記帳をしやすくするためには、その習慣をつけることが第一であり、そのためノートの片切れや、広告の用紙を四つ切りにして一番手近かなところに置き、支出があれば直ちに記録しており、最近では子供も手伝ってくれるようになった、というような体験談も出された。しかし家計簿を記帳し、それを反省して一応改善の個所が解るのであるが、実際にそれを改善しようとするのがなかなかむづかしい。（例えば、げん直し、大漁祝等）

また子供に小遣を与えることなどについても、一週間とか一カ月といったような割合で、まとめて小遣を渡しておくといったような方法をとると、案外子供の方が予算生活を早く身につけているようである。子供に予算生活の考え方をしつけることが大切であり、諸外国でもそういう

教育が行なわれている、と助言者の方からもお話しがあった。

漁家収入が少なくて、予算生活が一番必要な人が、割合に家計簿に対する関心がなく、家計簿の記帳をしていないように思われ、婦人部の力でお互に協力して、みんなが家計簿の記帳をするように努力したい。

大会決議事項

各分科会ごとにそれぞれ報告があり、その報告ののち全体討議の結果左記の三項が本大会の決議とされた。

- 1 漁村の収入と他産業の収入との格差をなくするために、将来漁村の構造改善等を通じて、強力な方法を構じていただきたい。
- 2 各種の会合において時間を励行する、特に閉会の時間を励行するように努力しよう。
- 3 家計簿の記帳や仕切日の延長等によって、漁家の消費生活を合理的に行い、予算生活ができるようにお互に研究努力しよう。

第五回全国大会の報告

出席者代表 北井 りよ

去る九月二十九日、東京において

第五回全国漁協婦人部大会が開かれました。

暑くもなく寒くもない秋晴れの日、青山の日本青年館の大ホールに一ぱいの出席者で、会場には北は北海道から南は鹿児島までの都道府県名の印された札があり、そこへ各自の席をとりました。

それぞれ責任を負ってこられた方達ばかりで、皆さん今どんなことを考えておられるだろうか、どんな気持だろうか、しかし漁業不振のなやみは皆さん共通に持っておられるだろうなアー等と想っているうち、午前十時開会されました

主催者の挨拶ののち、全漁婦連委員長、全漁連会長の挨拶に続いて水産庁長官、農林中金理事長、貯蓄増強中央委員会々長の祝辞が御座いましたが、皆さん口を揃えたように、所得増の折から設備投資の行き過ぎ、消費過多等で輸出が少く輸入が多くなって、国際収支の赤字である、このまま進んで行けばどんなことになるか分りませんので、家庭に於いては大蔵大臣である主婦達が、輸入品をなるべく買はないようにして僅かでも貯蓄をするように、とのことでした。魚の多くさんあった時にはできなかつた貯金も、魚が少な

くなつた時に、これではいけないといつて貯金を始めて、立直つたという例が多くさんあるから、沿岸漁業不振のこの時に、家庭の主婦である私達は漁協の強化に協力し、貯蓄にはげまなければならぬといつづく感じました。

次に優良漁協婦人部の表彰があり 全国で三十三の漁協婦人部が表彰されました。本県からも林崎の婦人部の方達が、日頃の熱心さがむくいられてめでたく表彰されました。その表彰された婦人部のうち、宮城県塩釜市浦戸漁協の婦人部が「漁協婦人部活動における漁協事業への積極的協力について」石川県橋立婦人部から「漁協婦人部の運営について」福岡県柏原婦人部からは「漁家生活の改善について」といったような実績発表があり、橋立婦人部の婦人学級の運営を始め、皆さんとても熱心なのに感服すると共に、私達も大いにはげまされました。講演は日本女子大学家政学部長の氏家寿子先生から、「今日より明日の家庭経営」と題して、色々例をあげて非常に参考になるお話を聞きました。人間価値を高めるためにもえている家庭でなくてはならない。そのために、

- 1、体
- 2、精神的要素
- 3、エネルギー
- 4、時間
- 5、金
- 6、物
- 7、サーピス

以上のようなことが必要で、特に家庭を司る家庭の主婦は、疲れたという言葉をなくしてしまわなければいけない、くたびれた女ほど使い道のないものはない、花でも活々しているのので美しいのであって、しなびてしまつては駄目ですから、どうかすると過重労働になりがちな私達は、エネルギーを上手に使って、そしてレジャーをよい方に費って、張切つて明るい家庭を少しでも生活の向上にむかつて、今日より明日へ進みましよう、という内容のお話でした。

また新会長（北海道、加勢良江さん）の挨拶がありました。この挨拶は大変りっぱな挨拶で、本当にその人のお人柄がしのばれ、全漁婦連の会長さんにこんなよい方が得られ、私達は幸せだと思いました。挨拶のうちに、あるお母さんから戴いた詩だといつて披露して下さいましたが、本当によい詩です。ので私も

5/2

戴いて参りました。

一滴の露、すぐ消えるもろさ、それが集って、細い流れとなり大河となつて、大地をうるほし

すべての命の花をさかす一人の力すくつかれるもろさそれが集って

グループとなり 村の力となって私達のくらしを高め

幸の花をさかす あなたの力 私の力

みんな手をとり力を合せ 幸福の扉をこの手であけよう

X X X

九月三十日、大会の第二日目この日は午前中分科会が開かれました

第一分科会

「漁協の強化と漁協婦人部の役割」

○漁協事業への協力

○漁協青年部と漁協婦人部の連繫

第二分科会

「漁協婦人部の運営」

○部員みんなが動く婦人部とする

ために

○部会(グループ)活動のすすめ

方

○他婦人団体との関係調整の仕方

第二分科会

「漁家生活の改善」

○家計簿による生活設計

○漁業生産と副業

○生活環境と次の世代

以上のようなテーマが取り上げられ、助言者の諸先生方の御指導によって熱心に討議されました。なお午後からは全体討議が行なわれ、最後に本大会の決議として次の二項目が決議されて、第五回全国漁協婦人部大会が盛会裡に閉会されました。

大会決議

1 漁協婦人部は、漁協の事業を今後益々利用して、漁協の事業が盛んになるように努めます。

2 漁村担当の生活改良普及員の増員を実現することに努めます。

(以上)

講演

漁村の暮しについて

第六回 漁協婦人部大会より

講師 灘生活協同組合理事 永谷晴子

会場を見渡しますと、皆さんの中に顔見知りの方がおられますが、その顔を拝見していますと、ここ数年のうちに非常な進歩のあとを感じることが出来ます。

私も生活協同組合において、婦人部の仕事を十五年してまいった者でありますから、こうした協同組合の婦人部のいわば同志といったような気持ちで、皆さん方のお顔を見ますと、何かたまらない嬉しさがこみあげて来ます。私は今日皆さん方が夕方まで御研究になる、これからの漁村の暮しということについて、或

は婦人部活動のあり方ということについてお勉強になりますその前座を努めまして、少しばかり暮しの問題を申し上げてみたいと思います。

私たちは、今日ここにお見えの皆さん方が、常に自分達の暮しが少しでもよくなって行くように、よりよい暮しになるようにということが切なる願いであります。今日に甘んじてこれでよいと思っている人はなく、少しでもよい暮しを家族のために、自分のためにといい暮しをよき暮しをと励んでいる婦人達であります、その婦人達が考

えているよい暮しというものが、一体どんな条件を備えている暮しでしょうか、そういったことを皆さんお考えになったことがありますでしょうか。昨日までなかった家具が一つ増えれば昨日より暮しがよくないか。それはいえるでしょう、しかも本当に私達の到達したいと考えている理想の生活、それはどういう条件を備えていなければならぬだろうか、ということをお考えになることがあるでしょうか。私はそれはいろいろと複雑にいい現わすことが出来るかも知れませんが、それをごく簡単にいいますと、「私達が一番考えている目に見える暮しの面で、もっと快的な能率的な合理的な暮し」をしたいと考えています。

暮しのことを一口に、私達は衣食住というようにいい方をしておりますが、これは本当は衣食住でなく、私が昨年世界中を廻って得ましたことは、日本人はどうも衣食住、衣食住といっているけれども、その順序に力を入れすぎると、少し暮しに余有ができてくると衣に向け食に向けて、私達の生活の本当の基盤である家庭生活の住の面には、少し心のもちい方が足りないということを考えます。私はいくことが衣食住で

あるが、気持の上では住食衣という
ような順序で、この頃は生活を整え
ることに励んでいる訳であります。

非常に合理的な衣食住、これは私
共の願いであります。かつて日本の
国民がつらい経験をしましたのは、
合理的な衣食住どころではなく、餓
をいかにしてしのぐかという食物の
ことで、どんなに私達女は苦勞した
ことでしよう。餓をしのぐひもじく
ないという食べ方、これは合理的な
食べ方ではありません、そのことは
皆さんよく御承知の通りいろいろな
面で、明日元気で働きのできる、そ
ういう原動力を作れるような、栄養
的なまた楽しい食卓を作り出すこと
ができればいけない。そのため
にはどれだけ経済力を持たなければ
ならないということは、これまた
ただ合理的な衣食住ということ一つ
を考へても容易のことではありま
せん。

一面非常によくなったと見える私
共の暮しも、一面をみますと旧態依
然とした貧しい姿があり、非常に私
共の暮しはアンバランス、釣合いの
とれない素晴らしさと貧しさをもつ
た生活であるということがいえまし
よう。食物から始まって着る物にし
ましても、今日のようにお出かけに

なる服装、お家でお仕事される服装

にしても五年前、十年前に比べたら
どんなによくなっているかというこ
とは、皆さんお考へになれば解るの
でありますけれども、私達が本当に
暮しの中で特に考へなければいけな
い。普段の暮しというものが、本当
によく整ってきたとは申せません。
人に見せる暮し、よそ行きの暮し、
そういう面ではよくなり、これは
大変進歩のようであるが、生きる生
活の中でも本当に隅々まで木目こま
かく、心の行届いた快的な生活がで
きているとはいえない、住の面にな
るとこれはもうお話の他ではありま
せん。私自身にしましても、どうし
ても自分の力でどうにもならないよ
うな、貧しさがそこに見られる
ような、そういう私の生活。合理的
な衣食住、いいかえれば皆さんが非
常に楽しくなければいけない、家族
全部が満足していなければいけな
い、そしてまた明日への動く力とい
うようなものが、もりもりと湧き上
がってくるような合理性でなくては
いけない、こういうようなことを考
えますと、それは何んといっても私
達が考へていきます、よい暮しの条件
の一つであると思えます。

だんだんに物が整ってきますと、

ともすると忘れがちな、軽く見られ
がちなものには精神生活であります。

物が不自由な時は、どうしてもそれ
によらなければなりませんから、上
を見て暮してはいけない、下を見て
暮らせば不満はないのだ、というよ
うに努めてその面の尊さを強調する
ものであります。今日のように世
間一般をみます時に、いくらかつつ
でもよくなってきている物の値、そ
してまたよくなっていくことに満足
しないで、もうこの上にこの上にと
物を追求しようとしている。そうい
う生活を多くさんみます時に、私は
の釣合いが大事だといっても、物の
面と精神の面と、その釣合がうまく
とれている生活でなければ、本当に
私達の望んでいるよい生活ではない
だろうと考へます。物にみちたりて
いると思われる生活の中に入って、
必らずしも家族皆さんが満足して暮
していられっしゃるといふ状態ばかり
ではありません。「物持ち喧嘩せず
という言葉のように、或るところま
ではそれで保たれて人間関係が調整
されているようでありましたも、決
してそれだけで本当に楽しい生活で
はないようであります。私はそれを
二つ目の条件に上げます。

更に三つ目の条件は、今後に亘つ

て常に成長を続けて行く生活でなけ
れば、私共のよい生活とはいえな
い。もうこれが行止りだ、というよ
うなことは、私はどんなに今日考へ
ている理想の線まで行ったとして
も、それは私共の終局の理想の生活
ではなく、一歩一歩今日より明日え
と成長させて行く、成長して行く、
もう死ぬ瞬間まで希望を失なわな
い、明日への希望を持つことのでき
る生活。そういう生活が、もしもこ
の地球上に生けるもの全部に与えら
れるのであれば、これは本当に私
共の考へる幸せな生活であろうと思
うのであります。

自分だけよくなっても、不幸を背
負って悩んでいる人達がたくさんお
りますときに、女の本性として決し
て自分だけがよい生活をしていると
いうことだけで満足できない、そう
いう美くしい思いやりの心を持って
いるはずであります。ことに協同組
合の婦人はこれがために、一人一人
としては力の弱い、経済的にも文化
的にも、どちらかといえば好条件を
持っていないお互が、お互の本当
とほしい力と真心を、ありったけ出
し合って、そして手を継ぎ合ってお
互の住んでいる所を楽園に作り替え
て行こう、ということて結びついた

協同組織が協同組合であります。その中の母親としての存在は、誠に私は合理的な衣食住であり、美しい家族関係、人間関係であり、そして常に成長発展を遂げている生活である。そうした生活がどうか自分一人ではなく、万人のものになってくれませうように願いつつ励んで行く、そういう生活が私共の考えているよい生活であろうと、私は考えております。

昨年大変よい機会を得まして、アメリカからヨーロッパを三カ月余り廻りました時に、各国ではどういふ暮らし振り、どんな気持で暮しを営んでいらっしやるか、私はいろいろな家庭に入って粗朴な一主婦の働く姿、働く心そういうことを探って歩きました。

第一番に、先程全国大会の御報告の中にありました、日本女子大学の氏家先生は、アメリカを三十五日間廻る時の同じメンバーでしたが、そのアメリカ三十五日間の見学の途中で、自分が想像していた文化生活よりも、はるかに越えて、もっとも高度の文化生活であるということに、本当にびっくりしました。それに引替えて、最後に訪れました印度の貧しさは、これはこの世の人間の

生活であるだろうか。と胸の痛む思いで、四日間印度の町を歩きましたけれども、本当にこれはこの世の両極端であるという感じを、私は十二カ国を廻った中でつくづく感じたのであります。

アメリカの人達にとって本当にこれだけがなければ快適な生活ができないというだけだけの物というのは次のようなことです。私を喜んで迎えて下さった、ロスアンゼルスの一学生夫婦は「おばさんよく来て下さいました、今日は最近買った車で町を御案内しましょう」といって素晴らしい車で町の隅から隅まで見せてもらいました。失業者の町という所にいって、あれが職を失っている人達であると聞いても、その人は立派な背広を着てネクタイを締めており、新聞を見ておるのです。ひまがある仕事がないというのが失業者の生活であって、食べられないというのが失業者の生活ではない、というようにそこを見せられた訳です。先程の学生夫婦の家に行ってみますと、これは月賦で買った家です、これも月賦で買ったオーブンです、ステレオ、テレビ、冷蔵庫というように揃えてありましたが、あなた達はまだまだ学生夫婦で仕事を持っていな

いはずだけれども、どうしてこれが買えましたかと聞くと、「学校に行く余暇にアルバイトをして、月賦の頭金を金融会社で借り、実はこの家は二十五年月賦です」ということで、来年卒業して就職し始めて月給を受けるはずの人達が、まだ手にしない月給で、二十五年先まで手をつけて使っているというようなことで、とにかくアメリカの人達は皆んな今申しましたような家具、器具を持っております。しかもなおテレビは毎日毎日朝から晩まで、どういふコマーシャルを流すかといひますと「自動車を一台中くらいしか持てないような貧乏暮らしから早く抜け出さない」ということを流しております。したが、それを見る人達は、やっと三年月賦で自動車を買いまして、その自動車を持っているということとは決して感謝ではなく、満足ではない。もう二台買いたい、自分よりよい車を買った隣の人の車を見ると、自分がガレージから自動車を出して乗って出るといふことが、何か一寸と気がひけるといふ、極端に言えばそのような、私共からみれば非常に贅沢きはまるものにつつまれながら、その気持は決して満足すべきものではないといふことを、アメリカ

カ庶民の中に生活感情として充分にみられたわけでありませう。それが証拠にいろいろな所で手にしました「日本という辻占」この紙切に言葉がいろいろ書いてあります。が、その中でも私に何かグサツときました言葉で、ひんぱんに出てくる言葉、それは「隣のジョンさんに負けたくない」といふ言葉です。「隣のジョンさんに負けたくない」。しかし皆さんこれはアメリカ人だけはいふことはできない。私は、それだけに恵まれていて、なおかつ隣のジョンさんに負けたくないという競争心は、なんと凄じいものだと驚いたのだけれども、そういうことはお互の生活を、(自分の生活をよりよくして行く気持ちの中に、もしも主人のために家族のために、また人間らしい生活を追求して行くために)かくあらねばならぬといふ努力の他に、隣に負けたくない、あの人よりもいいものを買いたいということ、私達が物を追求して行くならば、それは皆さんの今のお顔つきに出ているように、本当によい生活の成長のしかたではないといふことができます。そして、そういうことを私はアメリカの非常に素晴らしい面と思ひます。

例えばみんなが物持ちでありますから親切です、私がニューヨークの町を歩いていて、もう行きかう人みんながウイソクをしますから、初めのうちは気持ちが悪く一人で歩いてる時など、男の方が向うの方からウイソクなどされると、何かゾーとするような気持ちでしたけれども、異国の人であると思うとよく来ましたね、ということウイソクをする、そういう心に余有を持っていません。どこの家庭に行つて押入をみせてほしいといったように、ぶしつけなことをお願いしても、非常に気持ちよく聞いてくれます。そういった点は非常によい点ではありますが、そういう良識ある人だけでなく、一般大衆の中には、自動車に乗り廻しながら、素晴らしいアパートに住みながら、その気持ちは常に隣の人と競争する気持ちであり、何とか二台

漁協婦人部活動状況の概要

目の車を買いたいという気持ちであり、私はこの位物に振廻されている生活というものは、恐しいものだと思います。私には、恐しいものだと国に一番似ているのは日本だと思つて世界中を廻りました。逆に今日の日本の足どりの中に一番似ているのは、去年廻った十二ヶ国の中でどこかといわれるならば、本当にはつきりとアメリカということがいえます。

しかしアメリカのあの広大な国土。例えば他国と貿易ができなくなつたと仮定しても、海のもの、山のもの、工業資源とあらゆるものが自給自足して、そして生きて行くことのできるそういう富める国と、私共も日本が同じような足どりで生活をよくして行こうとするならば、私は非常に何か恐しいような気がするわけです。(以下次号に続く)

婦人部名、月日 実施事業の内容

津居山港	一一、五	定例販売
竹野浜	二六	役員会
柴山港	二二	役員会
余部	三〇	正月用料理講習会
"	一五	海苔つみ作業
"	一七	"

浜坂	七	月例販売
諸寄	一〇	浜そうじ
"	五	定例販売
但馬漁婦連	二五	"
"	一七	海苔すき改良講習会
明石浦	二一	京都府伊根漁協婦人部視察
"	一五	定例販売(電気製品、毛糸)
東二見	三〇	"
屏風浦	九	役員会(家計簿記帳について)
"	五、一〇、一五、二〇、二五、三〇	定例販売
伊保	六	全水共済及び家計簿について集会
"	一五	役員会
"	二八	全水共、共済加入
"	二九	役員会
明石市漁婦連	二〇	日用品販売
網干	二五	有線放送積立金集金
岩見	三〇	役員会(家計簿記帳、その他)
洲本	三二	役員会(講習会及び慰安旅行について)
"	二、九、一六、三〇	グループ活動(あみもの講習会)
炬口	一〇	委員会(県大会報告、家計簿購入の件)
飯屋	七、二二、二六	グループ活動(あみもの講習会)
"	一四、二一、二五	グループ活動(洋裁講習会)
育波浦	三、一三、二三	日用品の販売
"	二〇、二一	日用品の販売
"	二八	久保田鉄工所見学
"	二八、二九、三〇	グループ活動(家庭教育のためにローマ字をおぼえよう)
尾崎	二七	地区別活動(調理の心得について)
郡家浦	一一、二一	料理講習会
"	一五	日用品の販売
都志	一七	グループ月例会
"	"	グループ月例会(ローマ字をおぼえよう)

日本海区の「いわし」は不漁、瀬戸内海区は前年とかわらず

昭和三十六年九月の海面漁業による兵庫県の漁獲量は九、七六〇トンで、前年同月より二、一二七トン（一八％）減少した。これは、日本海区において「いわし、あじ」等多獲性漁種の漁獲減によるものであった。

他府県船による水揚は二一、一トンで、福井、京都、鳥取、島根の諸府県の中型底びき、小型底びき、きんちゃく網、しいら漬船等が入港水揚した。

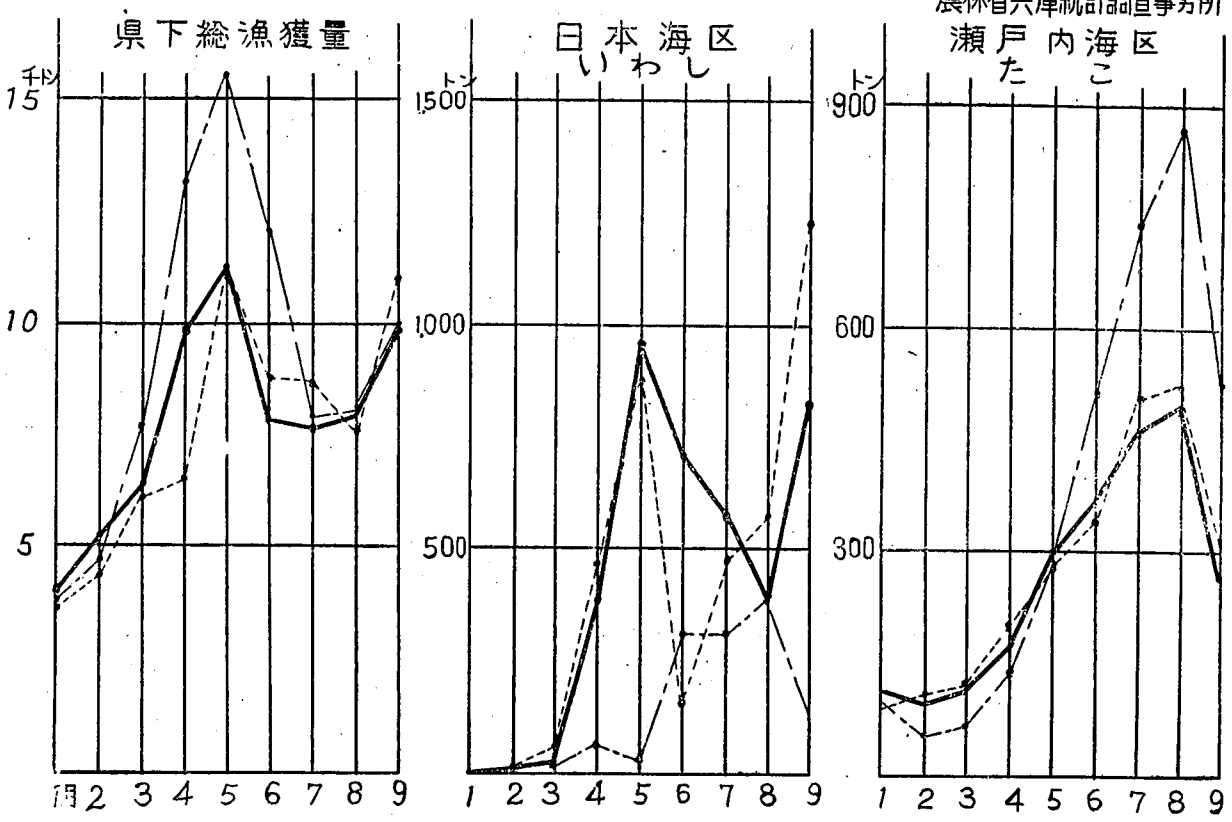
日本海区 総漁獲量は一、九二二トンで前年同月より五五％、過去五カ年の月別平均漁獲量より三八％それぞれ減少した。その主因はきんちゃく網、敷網の主要魚種である「いわし」「あじ」の漁獲減によるものであるが、このほか、九月から操業を開始した中型機船底びき網も「にぎす」の漁獲減によつて前年同月の成績を下廻り、また「するめいか」を対象とするいか釣漁業も前年同月の四四％を漁獲したにとどまり、日本海区の主なる漁業は軒並みに不漁であった。

魚種別にみると「いわし」の漁獲量は一二三トンを、その殆んどは「まいわし」であるが、前年同月にくらべると「まいわし」はその一五％、「うるめいわし」はその三％、「かたくちいわし」はその一％を水揚しているにすぎず、九月における過去五カ年間の最低の成績であった。「あじ」の漁獲量は三五七トンを前年同月の二四％を水揚したにすぎないが、九月における過去五カ年の「あじ」の漁獲量をみると前年につぐものであった。「にぎす」の漁獲量は七九三トンを前年同月より一三三トン（一四％）減少しており「かれい」「はたはた」さめ「えび」等が増加したにもかかわらず、中型底びきの総量は前年同月より七％減少した。そのほか、「さば」は七八％、「しいら」は約三、五倍と前年同月より増加したが数量が少ないので大勢には影響がなかった。

瀬戸内海区 総漁獲量は七、八三八トンで前年同月より二％過去五カ年の月別平均漁獲量より一七％それぞれ増加した。内海の代表的な漁業である小型機船底びき網をはじめ、船びき網、柵網、採貝、たこ漁業など、前年同月よりそれぞれ増加したが、きんちゃく網、はえなわは大巾に減少した。

魚種別にみると、「かたくちいわし」の漁獲量は五、七二〇トンで前年同月より六％減少したが、過去五カ年の月別平均漁獲量より一七％増加した。「かたくちいわし」を対象とする漁業についてみると、きんちゃく網は前年同月より約三五％減少し、船びき網は二〇％増加した。「あじ」の漁獲量は二八九トンを前年同月の約二、五倍、過去五カ年の月別平均漁獲量の約二倍と大巾に増加し、ことに、摂津海区の敷網、船びき網、淡路海区の釣漁業による増加がめだっていた。「ぶり」（はまち）の漁獲量は九五トンを前年同月の約二倍を水揚したが、これは播磨海区、淡路海区における、ひきなわ釣、吾智網の漁獲増によるものである。「たこ」の漁獲量は五〇〇トンで、前月より三七〇トン（四三％）減少しているが、前年同月より六四％、過去五カ年の月別平均漁獲量より七七％それぞれ増加し、漁業別には、底びき網で七三三トン、釣漁業で一八五トン、たこつぼで二

本年の月別漁獲量と前年および過去5カ年平均漁獲量との比較



四〇トンの漁獲があり、各漁業とも、播磨、淡路海区においては、前年同月より大巾に増加した。

昭和36年9月の海面漁業漁獲量 (単位：トン)

海区 年次	県 総 計				日 本 海 区				瀬 戸 内 海 区				
	36年	35年	増減量	%	36年	35年	増減量	%	36年	35年	増減量	%	
魚種													
総 数	9,760.6	11,888.4	△ 2,127.8	82	1,922.6	4,226.8	△ 2,304.2	45	7,838.0	7,661.6	176.4	102	
魚	い わ し	5,844.2	7,332.2	△ 1,488.0	80	123.7	1,223.4	△ 1,099.7	10	5,720.5	6,108.8	△ 388.3	94
	あ じ	647.3	1,582.1	△ 934.8	41	357.7	1,475.2	△ 1,117.5	24	289.6	106.9	182.7	271
	さ ば	118.3	70.8	47.5	167	118.2	68.6	49.6	172	0.1	2.2	△ 2.1	5
	ぶ り	103.0	50.5	52.5	204	7.1	1.3	5.8	563	95.9	49.2	46.7	195
	ひ ら め い	150.3	148.5	1.8	101	101.5	97.8	3.7	104	48.8	50.7	△ 1.9	96
	た ら	0.5	0.3	0.2	205	0.5	0.3	0.2	205	—	—	—	—
	は た は た	43.2	10.5	32.7	411	43.2	10.5	32.7	411	—	—	—	—
	に ぎ す	793.6	627.3	△ 133.7	86	793.6	927.3	△ 133.7	86	—	—	—	—
	さ め	10.6	12.7	△ 2.1	84	4.7	3.8	0.9	123	5.9	8.9	△ 3.0	67
	は も	60.5	70.9	△ 10.4	85	—	0	△ 0	—	60.5	70.9	△ 10.4	85
	ま だ い	26.0	27.3	△ 1.3	95	5.8	8.2	△ 2.4	71	20.2	19.1	1.1	106
	さ わ ら	1.4	17.2	△ 15.8	8	0	0	0	100	1.4	17.2	△ 15.8	8
	ぼ ら	29.9	37.7	△ 7.8	79	—	—	—	—	29.9	37.7	△ 7.8	79
	す ず き	28.7	15.2	13.5	189	0.6	1.3	△ 0.7	44	28.1	13.9	14.2	202
	し い ら	28.3	7.9	20.4	359	28.0	7.8	20.2	358	0.3	0.1	0.2	517
	あ な ご	56.0	49.2	6.8	114	1.3	0.4	0.9	340	54.7	48.8	5.9	112
	そ の 他 の 魚	573.7	608.2	△ 34.5	94	163.8	214.7	△ 50.9	76	409.9	393.5	16.4	104
	(魚類計)	8,515.7	10,968.5	△ 2,452.8	78	1,749.9	4,040.6	△ 2,290.7	43	6,765.8	6,927.9	△ 162.1	98
水産動物	するめいか	28.3	29.8	△ 1.5	95	28.3	29.8	△ 1.5	95	—	—	—	—
	そ の 他 の か	127.1	145.0	△ 17.9	88	59.7	112.6	△ 52.9	53	67.4	32.4	35.0	208
	た こ	503.8	307.0	196.8	164	3.0	2.4	0.6	127	500.8	304.6	196.2	164
	え び	408.0	329.7	78.3	124	78.2	37.4	40.8	209	329.8	292.3	37.5	118
	か に	40.6	16.5	24.1	247	—	—	—	—	40.6	16.5	24.1	247
	な ま こ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	そ の 他 の 水産動物	3.0	—	3.0	—	—	—	—	—	3.0	—	3.0	—
(水産動物計)	1,110.9	828.0	282.9	134	169.2	182.2	△ 13.0	93	941.7	645.8	295.9	146	
貝藻類	貝 類	132.2	89.1	43.1	148	3.4	4.0	△ 0.6	87	128.8	85.1	43.7	151
	藻 類	1.8	2.8	△ 1.0	63	—	—	—	—	1.8	2.8	△ 1.0	63

(注) △は減 0は漁獲量50kg未満 (50kg以上は100kgに切上げ)